

基本情報



【年齢】
33歳
【出身地】
宮城県七ヶ浜
【転出元】
宮城県利府町
【前職】
利府町協力隊
【活動時期】
R4.1～

協力隊に応募したきっかけ

前任地で梨栽培の一連の流れを取得し、今後も永続的に農業を続けていくにはどうすべきか、長らく考えていました。将来的に一次産業で生計を立てていくためには、初めからまとまった梨畑での就農準備を進めた方が効率が良いという考えに至り、その条件に当てはまる場所を求め、東北6県プラス新潟県の梨産地を対象に情報収集を進めました。その中で、角田市の梨畑がもっとも理想に近い条件が揃っていた事が一番の志望の理由になります。

今後の抱負・任期後の目標

梨以外の果樹栽培にも積極的にチャレンジ出来ればと考えており、現在興味のある果樹としては、桃・ぶどうの2品目、加えて角田市名産の梅栽培。また、収穫物を生かした6次産業事業にも携わる事が叶えばと思っています。梨に限らない果樹全般に対する知識や新たな栽培技術を取得し、どの果樹においても専門的な栽培ができるようになりたいと考え、任期終了後は、梨を中心とした果樹農家として定住するとともに、地域の方々と積極的にコミュニケーションを図りながら継続的な営農活動を進められればと思います。また次世代の新規就農者のために体得した技術は全て共有し、産地を守る活動事業にも力を入れていきたいと思っています。

活動内容

●耕作放棄梨園 再生計画 STAND UP!!

耕作放棄地、されど伸びしろがある農地があるだけ運が良い。手がける梨園は、2年から10年営農活動を行っていなかった場所、梨の木の状態は悪い。しかし設備などはまだまだ活かせる状態であったため、耕作放棄梨園(90a)を拠点にすることに決めた。損傷が激しい梨の木(およそ100本)全て伐根。そこに新たな梨苗木を植え、耕作放棄地をまた稼げる梨園にすることがミッションになります。



●北海道に学ぶ、農業経営のすすめ

広大な果樹園界隈に宿泊可能なキャンプサイトを作る活動を進めております。角田市姉妹都市交流事業として北海道栗山町に訪問させていただいた際に、選考事例として栗園(3ha)×キャンプ場経営を行っている農園を視察。「北海道での学びを角田の地で実践したい」をテーマに自信が手がける梨園に遊べる楽しめるキャンプサイトを作り、果樹園関係人口を増やし、新たな農産物販路を開拓することを目的とした活動を進めております。



●地域住民と地域農業の現状共有

角田市で行われている「かく大学の農ある暮らし学部」を通し、地域の方々と耕作放棄梨園に招待し、作業の現状や今後の課題や将来展望を共有しました。将来的に梨狩り体験可能な農園にしたいと考えており、様々な人が関わる、地域の方に愛される観光果樹園を目指せればと思います。



連絡先